

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

三重県伊賀市におけるCSF(豚熱)発生に係る災害派遣について

令和3年1月2日
防衛省

概要	○ 12月28日(月)、三重県伊賀市に所在する養豚農場1ヵ所(約6,600頭)において、CSF(豚熱)発生の疑いが発生。 ○ 29日(火)、検査の結果、陽性判定。 ○ 同日2000、三重県知事から陸上自衛隊第33普通科連隊長(久居駐屯地)に対し、豚の殺処分等の支援に係る災害派遣を要請。 ○ 同日2230以降、第33普通科連隊(久居駐屯地)を基幹とする部隊が豚の運搬などを実施。 ○ 自衛隊に割り当てられた豚の追い込み作業や殺処分した豚の運搬等が完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで対応可能となったことから、 ○ 1月1日(金)1841、三重県知事から陸上自衛隊第33普通科連隊長に対して災害派遣撤収要請があり、活動を終了。
活動部隊	○ 陸上自衛隊第33普通科連隊(久居駐屯地)等
活動態勢	○ 約200名態勢(第33普通科連隊(久居駐屯地)を基幹とする5個対処部隊(各隊約30名)を編成し、5時間ローテーションの24時間態勢で対応)
活動内容	○ 豚舎内における豚の追い込み作業・殺処分した豚の運搬など



【参考】今回活動の様子

袋詰作業



運搬作業

